

日本社会情報学会通信

Vol.24 No.1 2009.4.1

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail office@jasi.info

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

*本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

☆ 2009 年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会開催について☆

2009 年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会の検討が進められています。
今後開催される理事会の報告の後に、学会HP等でアナウンスする予定です。
会員の皆様方におかれましては、学会HPでご確認いただきますようお願い申し上げます。

2009 年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会（予定）

- 【主 催】 日本社会情報学会（JASI）
日本社会情報学会（JSIS）
- 【開催期日】 2009 年 9 月 11 日（金）～13 日（日）
- 【会 場】 新潟大学（詳細未定）
- 【テーマ】 （検討中）

☆ 2009年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会研究発表募集のお知らせ ☆
☆

学術委員長 田中 秀幸

2009年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会については、現在検討が進められているところですが、現在の予定に基づき、研究発表を下記の要領により募集いたします。以下、例年の例をご参照の上、発表申し込みをご検討いただければ幸いです。

研究発表は、例年、1件につき約30分となっています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子自治体・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など例年自由にお考えいただいています。

大会におきます研究発表につきましては、9月に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、前回の研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご覧下さい。

多数の皆様のお発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日時：2009年9月11日(金),12日(土),13日(日)

会場：新潟大学（詳細未定）

発表申込締切：2009年5月30日(土)（予定）

論文集原稿締切：2009年6月30日(火)（予定）

締切期日の確定を含め詳細については、学会HPや学会メーリングリストを通じてご連絡しますので、ご留意ください。

（1）発表申込要領

決まり次第、学会HP、学会メーリングリスト等でご連絡します。

（2）研究発表論文原稿執筆要領（予定）

ご参考までに昨年度の例を踏まえた留意点をお伝えします。正式なものは学会HP、学会メーリングリスト等でご案内しますので、そちらをご覧ください。

（a）原稿作成について

1. A4版、4ページで図表を含みます（4ページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください）。
2. 例年、モノクロ印刷となっております。図表の掲載に当たっては、モノクロでも判別可能となるよう留意下さい。
3. 原稿の1ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、英文アブストラクト(100語以内)」の順でお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に○印を付して下さい。

（b）原稿の送付について

1. 必着期限(6月30日予定)を過ぎた場合には、発表を棄権したものとみなします。
2. 研究発表論文集に掲載された論文の著作権は、日本社会情報学会（JASI）に帰属するものとします。

【注】執筆要領については、確定次第、学会HP、学会メーリングリスト等を通じてご連絡しますので、ご確認ください。

* 5月30日(土) 必着予定

2009年日本社会情報学会(JASI&JSIS) 合同研究発表大会研究発表申込書(予定)

(注) 書式や内容が変更になる可能性があります。確定版を学会HP等でご確認いただきますようお願いいたします。

◇ 発表申込者連絡先

会 員 名		
所 属		
住 所	(勤務先・自宅) 〒	
連 絡 先	TEL	FAX
	e-mail	

◇ 論題・発表者・発表用機器

論 題		
ふりがな 発表者氏名(所属)	1	2
*当日の発表者に ○を付す	3	4
使用機器(機器を使用する場合いずれかに○を付す) 1. 液晶プロジェクタ(パソコン, 同付属のコネクタはご持参下さい) 2. その他(上記以外の機器をご使用希望の場合には, 大会事務局にご相談下さい)		

◇ 要 旨 (200字以内)

<p>* キーワード (5つ程度、必ず記入)</p>

☆ 学術論文を投稿する際のご注意（投稿枚数の制限について） ☆

学会誌編集専門委員会 委員長 五藤寿樹

すでにご案内の通り、本学会は、会員の皆様からの学術論文などの投稿原稿を審査し、学会誌に掲載しております。最近、執筆要綱と著しく異なる様式の投稿が増加しつつあります。社会情報学のような学際分野においては、読者に対する読み易さに特に配慮し、限られた紙面で自己完結した内容とすることが強く求められております。そのため、学会誌編集専門委員会におきまして議論を重ねた結果、このほど執筆要綱と異なる原稿につきましては受付せず返却するという規定（審査要綱）の遵守を徹底することになりました。特に刷り上り原稿が10ページを超える原稿についても適用することになりましたので、会員の皆様にご注意を申し上げます。

☆平成21年度・学会賞候補推薦について☆

平成21年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 島田 達巳

< 表彰候補者の推薦締め切り >

種 類	締 切 日
大学院学位論文賞	21年4月10日(金)
優秀文献賞	21年5月22日(金)
優秀論文賞	同 上
論文奨励賞	同 上
学会功労賞	21年6月19日(金)
社会情報システム貢献賞	同 上
* 「秋山穰賞」	

* 「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

[功労選考委員会]

- 選考区分：
- ・ 学会功労賞
 - ・ 社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

- 選考区分：
- ・ 優秀文献賞
 - ・ 優秀論文賞
 - ・ 論文奨励賞
 - ・ 大学院学位論文賞
 - ・ 研究発表賞

※各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

平成20年12月1日
*20/12/1発行学会通信の再掲

日本社会情報学会

第12回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 須藤 修

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成20年4月1日～平成21年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきまして表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞（修士）
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

1. 受付期限 平成21年4月10日(金)*必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

平成 年 月 日

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____
TEL : _____ FAX. : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名]
_____ 大学 _____ 研究科
_____ 専攻

[学位取得日] _____ 年 _____ 月 _____ 日

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成21年4月1日

日本社会情報学会 優秀文献賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(2)優秀文献賞につき、下記により、表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。なお、優秀文献賞は、本学会正会員の公表した著書、翻訳書等で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な文献に贈られる賞となっております。また、対象となる文献の公表時期は、**平成19年4月1日から平成21年3月31日**と致します。

記

1. 受付期限 **平成21年5月22日(金)必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 須藤 修
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一文献
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀文献賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀文献賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦文献名] _____
出版社等名称 : _____
発行年月日 : _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成21年4月1日

日本社会情報学会 優秀論文賞・論文奨励賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(3) 優秀論文賞、(4)論文奨励賞につき、下記により、それぞれの表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。

なお、優秀論文賞は、本学会正会員が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞であり、論文奨励賞は、本学会正会員である新進の研究者が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞となっております。また、対象となる論文の公表時期は、**平成20年4月1日から平成21年3月31日**と致します。

記

1. 受付期限 **平成21年5月22日（金）必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 須藤 修
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一編
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 添付書類 推薦論文三通（論文の抜き刷りないしコピーで結構です）
5. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀論文賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 卷, 第 _____ 号, _____ ~ _____ ページ
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

日本社会情報学会
論文奨励賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による論文奨励賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail :

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 卷，第 _____ 号， _____ ～ _____ ページ
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

日本社会情報学会・学会表彰候補者の推薦お願い
[学会功労賞] [社会情報システム貢献賞]

平成21年4月1日

日本社会情報学会表彰委員会
功労選考委員会

下記により、日本社会情報学会の平成20年度・標記表彰候補の推薦をお願い致します。

1. 受付期限 **平成21年6月19日（金）必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 須藤 修
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、1件1部。
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 推薦者資格 本学会正会員。

なお、学会表彰の区分及び対象は、日本社会情報学会表彰規則第2条に基づき以下の通りとする。

- (1) 学会功労賞
本学会の発展に著しく功労のあった者
- (2) 社会情報システム貢献賞
本学会の大会、研究会、学会誌で公表した研究もしくは発表で、社会情報システムの発展に特に貢献したと認められる個人または団体

☆ 理事会報告 ☆

【第4回理事会報告】

日時 平成20年12月5日（金）14:30-15:15

会場 全国町村会館第3会議室

出席者 16名（順不同、敬称略）

廣松、富山、島田、福田、田中、太田、前田、遠藤、山本、今井、刀川、平林、中井、安藤、五藤、和泉

議事

1. 委員会報告
2. 全国大会決算報告
3. その他学会運営に関する事項

議事内容

1. 資料に基づき、前回理事会議事録を承認した。
2. 資料に基づき、島田表彰委員長より、次年度学会賞候補者の推薦締切日について提案があり、それを承認した。
3. 資料に基づき、福田企画委員長より、第114回、115回、116回、117回についてと第2回企画委員会議事内容について説明がなされた。また114回、115回についての参加者アンケート結果が報告された。
4. 資料に基づき、田中学術委員長より、第5回、第6回、第7回、また口頭により第8回学術委員会議事内容の説明がなされた。
「学会誌投稿要綱、学会誌論文審査要綱、学会誌執筆要領」の規則が変更され、「研究ノートならびに事例報告審査要綱」が新設された。
大学院生研究発表会において、継続開催が承認された。
5. 資料に基づき、合同大会実行委員会の田中理事より、全国大会決算の報告がなされ、それを承認した。大会アンケート結果についても報告があった。
6. 資料に基づき、入会11名、退会1名を承認した。
7. 廣松総務委員長より、以下の報告、提案がなされた。
12月5日現在の会員内訳、収支中間報告。
資料に基づき、英文HPについては、当面原案どおり掲載することとした。
回覧資料に基づき、社会学系フォーラムからの依頼、研究会等情報提供の方法については、本学会HPからの情報収集とした。
回覧資料に基づき、横幹連合における2009年度理事候補者は遠藤理事を推薦することを承認した。
回覧資料に基づき、平成21年度情報通信月間テーマ応募については、企画委員会で検討し、提出することとした。
回覧資料に基づき、顧問、特別会員の選出方法に（次年度名簿掲載）については、総務委員会で検討することとした。
8. 資料に基づき、事務局用PC購入を承認した。
9. 資料に基づき、現在のドメインと並行し、レンタルサーバでの取得済ドメイン jasi.info の運用を承認した。
10. 回覧資料に基づき、代表の田中理事より、研究者倫理研究会部会申請の提案がなされ、それを承認した。

次回は未定。

☆ 研究会報告 ☆

[第 53 回情報政策研究会]

日 時 平成 20 年 12 月 5 日 (金) 15:00~17:00

会 場 全国町村会館

テーマ 『ICT 利活用の現状と課題』

講演者 総務省情報流通行政局情報流通振興課
課長 安藤英作氏

[第 54 回情報政策研究会]

日 時 平成 21 年 1 月 15 日 (木) 15:00~17:00

会 場 中央大学駿河台記念館

テーマ 『次世代電子政府構想と Cloud Computing』

講演者 東京大学教授 須藤 修氏

[第 116 回定例研究会]

第 15 回社会情報システム学シンポジウム

担 当 部会 (主査 太田敏澄)

日 時 1 月 23 日 (金) 10:00-17:30

会 場 電気通信大学情報システム学研究科棟

特別講演 「知識コミュニケーションの展望」

山本 修一郎氏 (株式会社 NTT データ技術開発本部システム科学研究所長)

[第 117 回定例研究会] 予定

JASI 特別企画 ICT フォーラム 2009 (情報通信月間参加行事)

日 時 6 月 6 日 (土) 15:00-17:00

会 場 東京国際フォーラム G701 会議室

テーマ IT 社会の進化と IT 関連学会の役割

概 要

IT 化の進展に伴い、IT のインパクトは多岐な領域に及ぶようになってきている。そのような技術的・社会的背景の中で、IT 関連の学会が今後果たすべき役割は何か? について改めて考えることが必要となっている。今回は、主要 IT 関連学会の学会長並びにその経験者にご参加いただき、IT の進化の方向性、IT 社会のガバナンスの課題、学会(や研究者)の社会的役割に関して議論していただく。

パネリスト(予定)

(社)情報処理学会長(交渉中)

(社)電子情報通信学会長(交渉中)

日本社会情報学会(JASI)2代会長 清原慶子(三鷹市)

日本社会情報学会(JASI)3代会長 太田敏澄(電気通信大学)

日本社会情報学会(JASI)4代会長 遠藤薫(学習院大学)

日本社会情報学会(JASI)5代会長 須藤修(東京大学)

コーディネーター 福田豊(電気通信大学)

☆ 委員会報告 ☆

[企画委員会]

● 第2回企画委員会

日時 11月18日(土) 15:30-16:00

会場 東京大学駒場キャンパス・18号館4階コラボレーションルーム4

出席者 福田、木村、内藤、佐藤

議題

1. これまでの定例研究会の企画・運営について
2. 今年度のこれからの定例研究会開催について
3. その他

[学術委員会]

● 第8回学術委員会

<日時>平成20年12月6日(土) 19:00~19:30

<会場>東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

<出席者> 安藤明之(東経大)、遠藤薫(学習院大)、岡田勇(創価大)、
木村忠正(東大)、五藤寿樹(日本橋大)、桜井成一朗(明学院大)、
田中秀幸(東大)、山本佳世子(電通大)[敬称略]

<議事>

1. 前回議事録の確認
2. チュートリアルおよび第2回大学院生研究発表大会の報告(田中委員)
3. 研究者倫理研究会の設立(田中委員)
4. 大学院生研究発表大会の継続開催(田中委員)
5. 2009年度の全国大会(田中委員)
6. 英文誌編集委員会からの報告事項(桜井委員)
7. 規定関連

・次回の学術委員会は、

東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環で1月24日(土) 15:30~

● 第9回学術委員会

<日時>平成21年1月24日(土) 15:15~15:35

<会場>東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

<出席者> 安藤明之(東経大)、遠藤薫(学習院大)、岡田勇(創価大)、
五藤寿樹(日本橋大)、桜井成一朗(明学院大)、田中秀幸(東大)、
廣松毅(東大)、山本佳世子(電通大)[敬称略]

<議事>

1. 前回議事録の確認
2. 2009年度の全国大会(田中委員)
3. 研究者倫理研究会の設立(田中委員)
4. 全国大会合同企画委員会(遠藤委員)
5. その他

・次回の学術委員会は、

東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室で、3月23日(月) 11時~

☆第15回社会情報システム学シンポジウム開催報告☆

環境・教育・GIS研究部会 主査 太田敏澄（電気通信大学）
幹事 諏訪博彦（電気通信大学）

日本社会情報学会（JASI）「環境・教育・GIS」研究部会では、第15回社会情報システム学シンポジウム（第116回定例研究会）を、社会情報システム学研究会の主催、経営情報学会（JASMIN）「社会情報と情報ネットワーク」研究部会、電気通信大学 Social Informatics（社会情報学）研究ステーションとの共催にて、2009年1月23日（金）に電気通信大学情報システム学研究科棟にて開催致しました。

このシンポジウムは、ユビキタス時代の社会情報システムのシナリオを描くべく、人文・社会科学的情報概念と自然科学的情報概念の統合を企図し、高度でかつ幅広い議論ができますことを願って開催致しております。お陰様をもちまして、83名の方々のご参加を戴き、盛会のうちに開催することができましたことに、深く感謝致しております。

来年同時期には、第16回のシンポジウムを企画する予定に致しておりますので、ご研究発表をはじめ、ご関心のある多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

第15回のシンポジウムでは、特別講演として、「知識コミュニケーションの展望」（山本修一郎氏、㈱NTTデータ技術開発本部システム科学研究所長）のご講演を戴きました。

このご講演は、「知識コミュニケーションは、創造される知識のあり方を発展させ、協調学習を可能とし、組織進化のプロセスを変革できる」ということについて、仲介知の提唱や社内SNSの具体的な事例に基づくご議論を分り易く披瀝して下さった貴重なご講演であり、情報技術の利用が、技術規範型の導入から社会規範型の活用へと軸足を移行させているという動向や、組織を対象とした導入から個人を基盤とした導入へのシフトといった動向と相俟って、今後この領域の研究を展開する上で大変有意義なご講演でありました。

さらに、公募による一般セッション講演では、34件のご研究発表がありました。一般セッションでのご講演は、

- | | | | |
|----------|-------------|------------|-----------------|
| [1] CGM1 | [2] 金融とリスク | [3] 情報の指標化 | [4] 環境サステイナビリティ |
| [5] CGM2 | [6] 株式市場の分析 | [7] 地域活性化 | [8] 団体活動支援 |
| [9] CGM3 | [10] 業務改善 | [11] GIS | [12] 地域情報の電子化 |

の12のセッションにより行われました。

いずれのご講演も、時代の要請にもとづいた概念的、理論的ないし方策的なご研究の成果を披瀝して戴いたご講演であり、この領域の研究がますます盛んになることを確信することができました。

なお、一般セッションでのご講演の題目につきましては、社会情報システム学研究会のホームページ<http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/>に、これまでの回のご講演題目を含めて掲載致しておりますので、ご覧戴けますよう宜しくお願い致します。また、学術講演論文集に掲載された論文の和文概要ないし英文概要は、科学技術振興機構のデータベース（JDreamのJSTPlus）に登録しておりますので、ご参照下さい。

また、学術講演論文集（ISSN：1882-9473）に余裕がございますので、ご希望の方に、実費¥1,000にて頒布致します。お申し込みは、第15回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集購入ご希望の旨、ご送付先住所、お名前、telまたはfax番号を添え、e-mail: ohta@is.uec.ac.jpまたはfax: 042-443-5660太田敏澄宛に、お願い致します。代金につきましては、郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会宛に、学術講演論文集到着後、お振り込み下さいますようお願い致します。

部数に限りがございますので、先着順にてご容赦下さい。

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局 研究会代表 太田敏澄
FAX&TEL: 042-443-5660, e-mail: ohta@is.uec.ac.jp
電気通信大学 大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻
社会情報システム学講座 URL: <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/>

☆ 事務局だより ☆

* 会費納入のお願い

過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

未納会費請求につきましては、現在、年4回の請求（10月、12月、4月、8月）をさせていただいておりますが、未納の場合、会員規則第4条に従いまして、1年未納の場合会員サービス停止、2年未納の場合は除名となる場合があります。主旨ご理解の上、重ねてよろしくごお願い申し上げます。

* 通信費削減への協力のお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて頂いて戴いておりますが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。メールアドレスが変更された会員の方は、事務局までご送信のほどよろしくごお願い致します。

平成17年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週2日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail office@jasi.info

平成21年4月1日より事務局アドレスが変わりました。

新アドレスは office@jasi.info です。

旧アドレス jasi@jade.dti.ne.jp はH22年3月末まで併用できますが、H22年4月1日からは使用不可となりますのでご留意下さい。